

つがる市ネブタまつり

7月26日・27日、ネブタまつりが3年ぶりに開催されました。コロナ禍で参加団体は例年の半数以下の4団体にとどまりましたが、待ちに待った「じゃわめく（血が騒ぐ）」ネブタが人々を魅了しました。

26日は市商工会前で出陣式が行われ、今年出場した4団体が囃子を共演。その後各団体のネブタを披露。27日は合同運行が行われ、市商工会前・銀杏ヶ丘公園間を往復し、復路の長谷川食品前の交差点には、4団体が結集。まつり最後の喧嘩太鼓が鳴り響くと、会場は熱気に包まれました。



横町町内会 ^{そんごくう えんまちよう さわ}「孫悟空、閻魔方を騒がす」

菟中ねぶた愛好会 ^{しよづき}「鍾馗」



有楽町町内会 ^{あかおに}「赤鬼」



市民ネブタ実行委員会 ^{ふどうみょうおう あくまき}「不動明王と悪魔鬼」





つがる市はたちを慶ぶ会

8月15日、つがる市はたちを慶ぶ（よろこぶ）会が松の館で開催されました。式には対象者287人のうち217人が出席。人生の輝かしい門出を迎え、新たな一歩を踏み出しました。

式辞で倉光市長は「若さあふれるエネルギーとアイデアを、ふるさとの発展のために生かしてほしい」とはたちの皆さんへの期待を述べました。

はたちを代表して中曽根孝太郎さんが「どこにいても、ふるさとつがる市に生まれたことを誇りに思い、力いっぱい成長していきたい」と誓いを述べました。



司会を務めた土岐亮太さん



はたちの代表を務めた中曽根孝太郎さん

旧友との再会に心躍るはたちの皆さん



はたちの抱負

三橋 こころ さん

今は学業をがんばり、しっかり自立したい。将来は国際関係の仕事に就きたい。ここまで育ててくれた両親にありがとうと言いたい。



三浦 依樹 さん

はたちだからといって羽目を外さず謙虚に生きていきたい。大学に行かせてもらい、両親に感謝している。

